

## 2016年6月6日～10日、SE4ALL ACEF(Asian Clean EnergyForum)の省エネ部会に参加

### <概要>

ECCJの活動内容、特にアセアン地域における省エネ推進活動実績の紹介と、SE4A11 諸機関特に ADB との関係強化を目的に、ECCJ の田中連携センター長が C2E2(SE4ALL Energy Efficiency Hub)、EESL、ADB、SE4A11 が共催する ACEF 2016 (開催地マニラ)に参加した。当方のプレゼンテーマは Best Practices and policy support activities at the national level だった。



写真1 田中プレゼン風景



写真2 メインフォーラム風景  
(SE4A11 CEO R. Kyte)

### <ACEF 出席とその成果等について>

フォーラム全体は6月6日から10日で、当方は省エネ関係のプレフォーラム(7日)と、本フォーラム(8～9日)のみに参加した。ECCJからは以下の内容でプレゼンを行なった。①ECCJ活動の概要、②Systematic development of key systems(省エネ技術・体制開発軸と、省エネ体制整備軸による省エネ取組ロードマップ)の提示、③ECCJの強み分野の例示(官民連携の典型例としてAJEEP Scheme 2、Labeling Programの実施例としてAJ EMTIPS Raising Awarenessの実施例として省エネ大賞・アセアンエネルギー大賞・トップテン事業)

当方の講演後に参加者から寄せられた質問の内容から判断し、当方のプレゼン内容に対する評価は非常に好意的だった。ECCJの実績と、強み等に関し、十分な理解が得られたと考える。更に、フォーラム内外における活動を通じ、ADB、WB、C2E2等との更なる協力推進に合意することができた。特にADBとは、従来の関係は外国人が多かったが、今回現地の日本人スタッフとの情報・意見交換により、省エネ関連事業に関わる協力体制構築に向けた下地を作ることができた。今後のSE4A11活動や、ECCJ自主事業に積極的に活用していきたい。